

# 松 緑 白 花

Vol 12

石垣市立石垣中学校  
教 頭 伊舎堂 用右

## 3学年・進路を考える（総合的な学習の時間）



# 「先輩に学ぶ」

【ねらい】

3学年職員による進路講話を聞いて、生徒一人一人が将来に夢を持ち自らの生き方を定め、進路について考える態度を育成する。（キャリア教育・進路指導）

去った5日（金）の5～6校時にかけて体育館で三密を避けるために学年を2グループに分け（1・2組）と（3・4・5組）に分け、ソーシャルディスタンスの隊形で整列をして聞くということで開催しました。大変なのは講師の皆さんです。（2回、話をしないといけないので）そんな中、今回、講師を務めていただいたのは、次の先生方です。荷川取 保先生・波照間督起先生・大熊精一先生（3名は2回）と各学級担任（担任は1回）です。講師の先生方、ありがとうございました。自分の進路について、考える時間となったことと思います。講師の先生方の講話から印象に残った言葉を少しですが掲載させていただきます。先生方、ありがとうございました。

【荷川取 保先生】

- ・好きなこと（目標）をみつける→達成のため計画・行動・努力
- ・マイナス発言は自分のためにならない
- ・自分のため、将来のため、あきらめないことが大切（教員採用試験合格へ向け、必死に頑張った）

【波照間督起先生】

- ・中、高（大学）時代の経験は人生の基礎となる（学生時代の（外での）経験は、将来生きてくる）
- ・学校と社会はつながっている
- ・今の職業に就くまで、何度も教員採用試験にチャレンジした。死に物狂いで頑張った

【大熊精一先生】・・・手話を交えての講話

- ・好きな言葉：① When one door is closed , many more is opened.  
(1つの扉が閉まっているとき、もっとたくさんのドアが開いている)  
→道はひとつじゃない まわりにはまだまだ道がある
- ② Only I can change my life. No one can do it for me.  
(自分の人生を変えられるのは自分だけ)

【生徒の感想から】

- ・1人1人それぞれの人生があって、見えない所でたくさん努力しているんだなと思いました。私も逃げないで頑張りたいと思いました。まずは目標を見つけていきたいです！
- ・1人1人の違う人生があって、その人生で何度も間違ったり、失敗したりして、先生達も今の職業に就いていることがわかった。自分のこれからの人生、なりたいもの、やりたい事、行きたい学校など、ちゃんと考えて決めることが大切だとわかった。先生たちの話を聞くことも良い経験になりました。
- ・先生方の話を聞いてわかったことがあります。①たくさんの経験が未来のためにつながる。②失敗してもあきらめずに努力し続けること。私は進路について深く考えていなかったけど今日の話が考えるきっかけとなりました。

裏面には写真も掲載しています。（少ないですが……）ご覧ください。

進路（深路・針路などなど）小中は義務教育ですが、その後は自分で道を探し、決定していきます。中3は大げさな言い方になるかもしれませんが、第1回の人生の岐路（進路選択）に立ちます。保護者のアドバイス、色々な人の考えも参考にしながら、これからの進路学習で学び・深め、より良い進路選択ができるよう、人まかせではなく、自分自身しっかりと考えることが大切です。悩める中3生、頑張ってください。中1・2年生の皆さんも、他人ごとではなく、学校生活を楽しみながら、今から1・2年後の自分の進路を見据えて頑張ってください。

**“自分の道は自分で切り拓く” 進め！石中生！**



大熊精一先生（学習支援員）



生徒達は、メモをとりながら真剣に聞いていました。

